

第24期末（2023年4月25日）

基準価額 7,587円

純資産総額 15億円

第19期～第24期  
(2022年10月26日～2023年4月25日)

騰落率  $\Delta$ 8.1%

分配金合計 0円

(注) 騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

# グローバル・ ディスラプター成長株ファンド (予想分配金提示型)

追加型投信／内外／株式

## 運用報告書（全体版）

作成対象期間：2022年10月26日～2023年4月25日

第19期 (決算日2022年11月25日) 第22期 (決算日2023年2月27日)  
第20期 (決算日2022年12月26日) 第23期 (決算日2023年3月27日)  
第21期 (決算日2023年1月25日) 第24期 (決算日2023年4月25日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「グローバル・ディスラプター成長株ファンド（予想分配金提示型）」は、このたび第24期の決算を行いました。

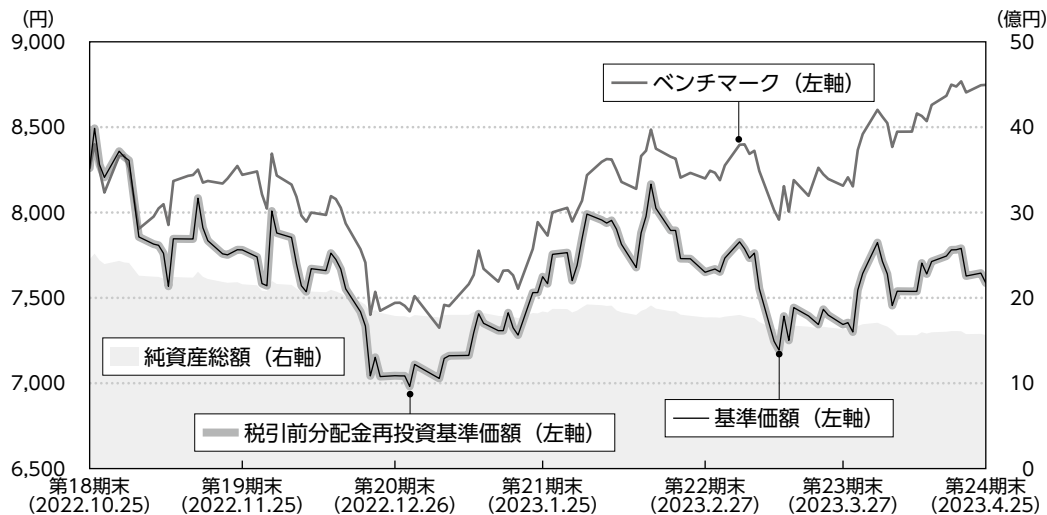
当ファンドは、「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、既存の市場を破壊しうる革新的な技術・ビジネスモデルを有し、株価上昇が期待できる成長企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

# 運用経過

2022年10月26日～2023年4月25日

## 基準価額等の推移



第19期首	8,260円	既払分配金	0円
第24期末	7,587円	騰落率（分配金再投資ベース）	△8.1%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ベンチマークはMSCIワールド・グロース・インデックス（配当込み、円ベース）で、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。なおベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

## ■基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・1月上旬から2月上旬にかけて、大型テクノロジー企業の業績を好感し、グロース（成長）株やテクノロジー株への物色などにより株価が上昇したことに加え、市場予想を上回る米雇用統計を受けて米連邦準備制度理事会（FRB）による積極的な利上げ観測が高まったことなどから、米ドルが対円で上昇したこと
- ・3月中旬から4月上旬にかけて、欧米金融当局の金融システム不安への迅速な対応やFRBの将来的な利下げ期待などから株価が上昇基調で推移したこと

### <下落要因>

- ・12月中旬から下旬にかけて、グローバルでの金利上昇圧力を受けて株価が下落したこと
- ・2月上旬から3月上旬にかけて、偵察気球をめぐる問題を引き金とした米中対立の再燃や米地銀の経営破綻に端を発した欧米金融機関への信用不安から株価が下落したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第19期～第24期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	45円	0.589%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,626円です。
（投信会社）	(15)	(0.192)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(29)	(0.384)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	( 1)	(0.013)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.003	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
（監査費用）	( 0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	( 0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	45	0.592	

(注1) 作成中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

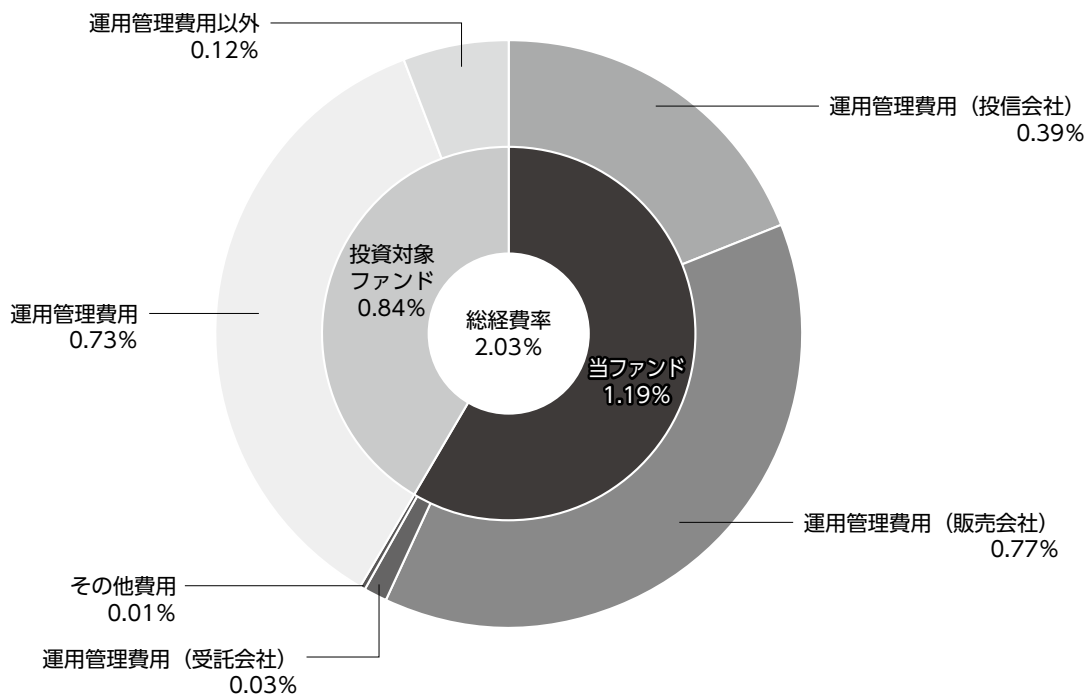
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.03%**です。



総経費率 (①+②+③)	2.03%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.73%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

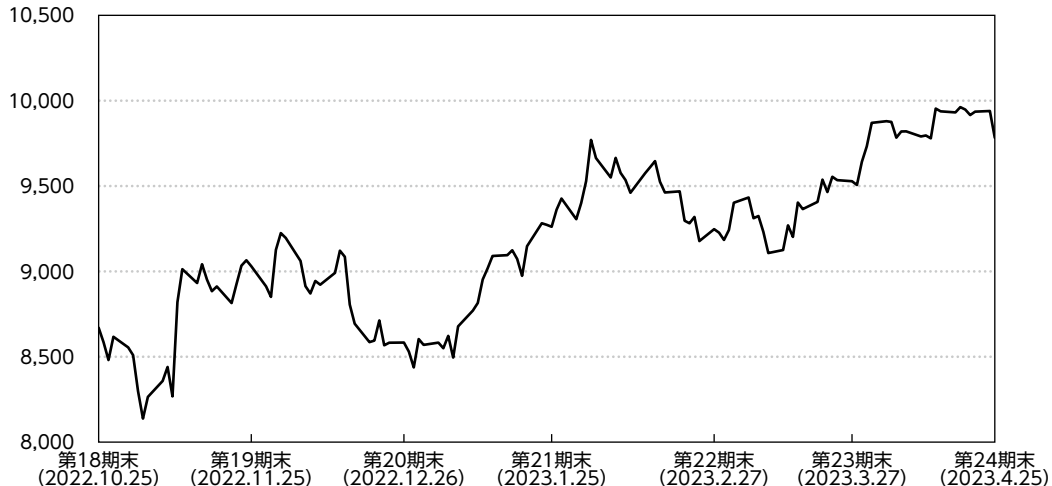
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 世界株式市況

【MSCIワールド・グロース・インデックス（配当込み、米ドルベース）の推移】



(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

世界株式市場（MSCIワールド・グロース・インデックス（配当込み、米ドルベース））は当作成期を通じて見ると上昇しました。

当作成期初は、パウエルFRB議長が金融引き締め長期化を示唆したことで米長期金利が上昇したことなどから株価が下落しましたが、その後、12月上旬にかけてはインフレのピークアウトが意識され、金融引き締めの長期化に対する警戒感がやわらいだことなどから、上昇基調で推移しました。12月中旬から下旬にかけては、グローバルでの金利上昇圧力を受けて株価は下落しましたが、1月以降は大型テクノロジー企業の業績を好感し、グロース株やテクノロジー株への物色などが上昇をけん引しました。2月上旬から3月上旬にかけては、偵察気球をめぐる問題を引き金とした米中対立の再燃や米地銀の経営破綻に端を発した欧米金融機関への信用不安から株価は下落したものの、当作成期末にかけては欧米金融当局の迅速な対応やFRBの将来的な利下げ期待などから、上昇基調で推移しました。

## ポートフォリオ

### ■当ファンド

「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、既存の市場を破壊しうる革新的な技術・ビジネスモデルを有し、株価上昇が期待できる成長企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

### ■GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド

\*GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの資料（現地における当作成期末の前営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

日本を含む世界の株式を投資対象とし、急速に変化するテクノロジーやビジネスの変化をとらえるために、トップダウンアプローチによりテクノロジーテーマのサイクルを見極め、個別銘柄の選定においては、ボトムアップアプローチによる企業のファンダメンタルズ分析とテクニカル分析の両面に焦点を当てて決定しました。

当作成期末時点における業種配分は、組入比率の高い順に情報技術（45.4%）、一般消費財・サービス（11.4%）、ヘルスケア（10.8%）としており、国・地域別配分は、組入比率の高い順にアメリカ（72.7%）、中国（5.6%）、ドイツ（4.7%）としています。

（注1）比率はすべて対組入株式等評価額比です。

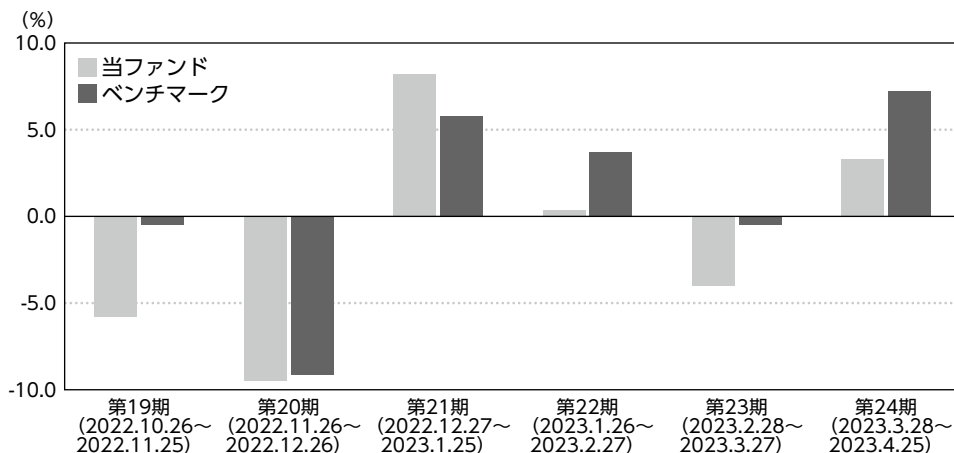
（注2）業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。以下同じです。

（注3）国・地域はGAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの分類によるものです。

### ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

## ベンチマークとの差異



当作成期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は-8.1%となり、ベンチマーク騰落率(+5.9%)を下回りました。

これは「GAMディスラプティブ・グロス・ケイマン・ファンド」の個別銘柄選択において、情報技術や金融、コミュニケーション・サービスなどの業種がマイナスに寄与したことなどによるものです。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 分配金

当作成期の分配金は、決算日前営業日の基準価額が当運用報告書「当ファンドの概要」分配方針記載の11,000円未満であることなどから、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期
	2022年10月26日 ~ 2022年11月25日	2022年11月26日 ~ 2022年12月26日	2022年12月27日 ~ 2023年1月25日	2023年1月26日 ~ 2023年2月27日	2023年2月28日 ~ 2023年3月27日	2023年3月28日 ~ 2023年4月25日
当期分配金(税引前)	-	-	-	-	-	-
対基準価額比率	-	-	-	-	-	-
当期の収益	-	-	-	-	-	-
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	1,064円	1,064円	1,064円	1,064円	1,064円	1,064円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

## ■当ファンド

「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、既存の市場を破壊しうる革新的な技術・ビジネスモデルを有し、株価上昇が期待できる成長企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

## ■GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド

信用不安を受けた銀行の貸し出し態度の厳格化による景気への影響などが表面化するには、しばらく時間を要するとみられます。引き続き、金融市場の不安心理が拡大しやすいことや企業の経営活動が保守的になる可能性があることから、過度な楽観には注意が必要であると判断しています。信用不安が落ち着き、景気は減速しつつも良好な雇用環境が景気の下振れリスクを緩和し、金融引き締めが図られることがベストシナリオではありますが、さまざまなリスクがくすぶっていることから、その要素を細かに注意深く見る局面が続いていると考えています。景気減速を背景とした企業業績見通しへの下方圧力は継続しており、金融引き締めが続く限り株式のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）は株価の押し上げ要因にはなりづらく、個々の企業業績を中心としたファンダメンタルズ（基礎的条件）に着目した物色やセクターローテーション（景気の局面ごとに有望な業種別銘柄群に投資対象を切り替えていく戦略）の激しい動きが続く可能性が想定されます。

当ファンドでは引き続き、既存の市場を破壊しうる革新的な技術・ビジネスモデルを有し、株価上昇が期待できる成長企業の株式に厳選して投資を行う方針です。

## ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。



# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド

	第24期末 2023年4月25日
GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド	98.8%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

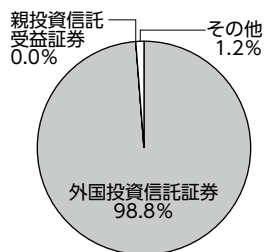
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

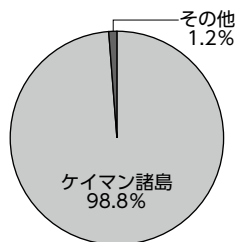
項目	第19期末 2022年11月25日	第20期末 2022年12月26日	第21期末 2023年1月25日	第22期末 2023年2月27日	第23期末 2023年3月27日	第24期末 2023年4月25日
純資産総額	2,159,154,706円	1,788,396,094円	1,840,660,670円	1,771,004,237円	1,634,798,530円	1,563,581,927円
受益権総口数	2,774,764,152口	2,539,020,996口	2,414,294,091口	2,315,111,493口	2,225,972,534口	2,061,001,899口
1万口当たり基準価額	7,781円	7,044円	7,624円	7,650円	7,344円	7,587円

(注) 当作成期間（第19期～第24期）中における追加設定元本額は12,310,353円、同解約元本額は917,722,483円です。

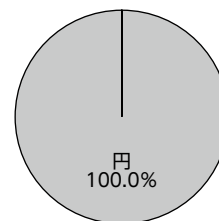
### 資産別配分



### 国別配分



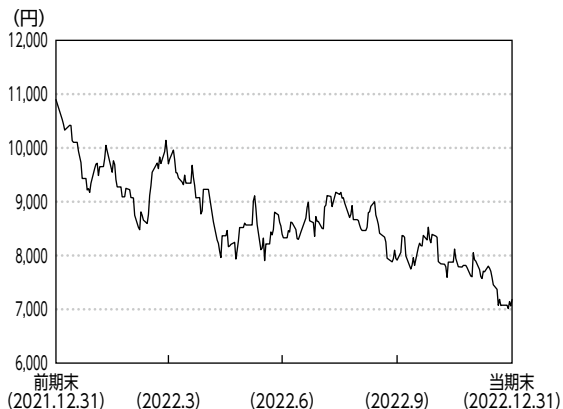
### 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年4月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンドの概要

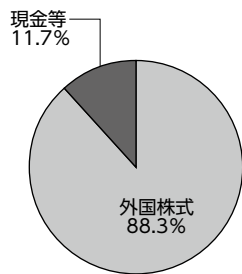
### ■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



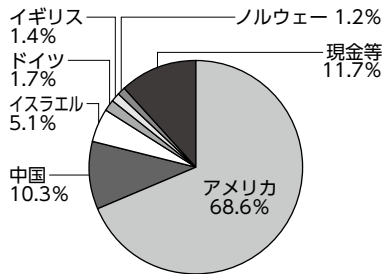
### ■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
マイクロソフト	米ドル	10.0%
P T C	米ドル	6.4
インテューティブ・サージカル	米ドル	6.1
プラス500	イギリス・ポンド	5.1
エクスペディア・グループ	米ドル	4.4
ネットフリックス	米ドル	4.4
キーサイト・テクノロジー	米ドル	3.9
マーベル・テクノロジー	米ドル	3.1
シーゲイト・テクノロジー	米ドル	2.5
センサータ・テクノロジーズ・ホールディング	米ドル	2.4
組入銘柄数		40

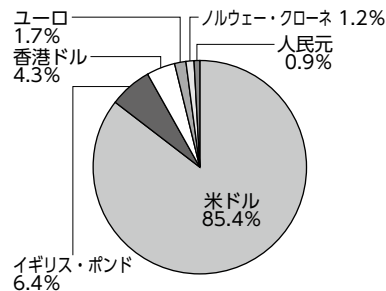
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものです。

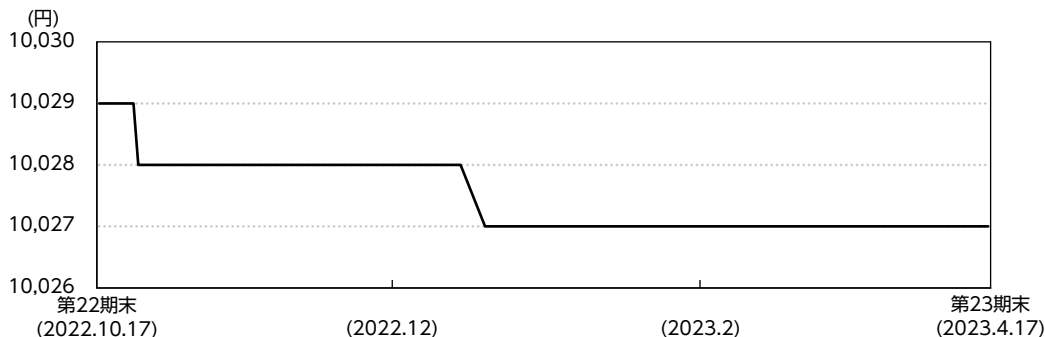
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2022年12月31日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券の純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はGAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの分類によるものです。

(注3) 1万口当たりの費用明細につきましては、入手が困難であるため記載していません。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照下さい。

## ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

### ■ 基準価額の推移



### ■ 上位銘柄

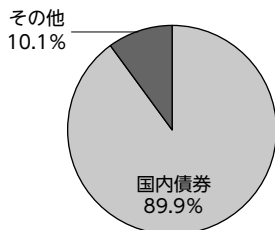
銘柄名	通貨	比率
第132回 共同発行市場公募地方債	円	22.1%
平成30年度第2回 北海道公募公債（5年）	円	21.9
第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	14.2
第26回 政保日本政策金融公庫債券	円	14.2
第49回 政保地方公共団体金融機構債券	円	14.2
第1121回 国庫短期証券	円	2.0
第374回 大阪府公募公債	円	1.4
組入銘柄数		7

### ■ 1万口当たりの費用明細

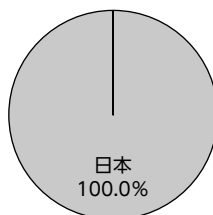
2022.10.18~2023.4.17

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

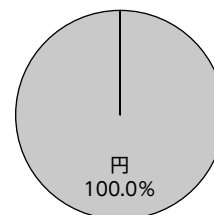
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2023年4月17日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配額)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	ベンチマーク	期中 騰落率	GAM ディスラプティブ・ グロース・ケイマン・ ファンド	債券 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金					
(設定日)	円	円	%	円		%	%	%	百万円
2021年4月26日	10,000	-	-	10,000	10,000	-	-	-	1,102
1期 (2021年5月25日)	9,717	0	△ 2.8	9,717	9,913	△ 0.9	95.3	0.0	2,475
2期 (2021年6月25日)	10,440	0	7.4	10,440	10,571	6.6	88.6	0.0	4,253
3期 (2021年7月26日)	10,179	0	△ 2.5	10,179	10,979	3.9	96.0	0.0	5,141
4期 (2021年8月25日)	10,184	0	0.0	10,184	11,066	0.8	98.5	0.0	5,392
5期 (2021年9月27日)	10,205	0	0.2	10,205	11,178	1.0	96.2	0.0	5,369
6期 (2021年10月25日)	10,697	0	4.8	10,697	11,494	2.8	97.1	0.0	5,675
7期 (2021年11月25日)	10,989	0	2.7	10,989	12,052	4.9	95.5	0.0	5,736
8期 (2021年12月27日)	10,799	0	△ 1.7	10,799	11,919	△ 1.1	97.1	0.0	5,483
9期 (2022年1月25日)	9,457	0	△ 12.4	9,457	10,527	△ 11.7	97.4	0.0	4,651
10期 (2022年2月25日)	9,111	0	△ 3.7	9,111	10,304	△ 2.1	98.4	0.0	4,450
11期 (2022年3月25日)	9,837	0	8.0	9,837	11,444	11.1	98.8	0.0	4,822
12期 (2022年4月25日)	9,076	0	△ 7.7	9,076	11,030	△ 3.6	98.3	0.0	4,379
13期 (2022年5月25日)	7,946	0	△ 12.5	7,946	9,692	△ 12.1	98.5	0.0	3,744
14期 (2022年6月27日)	8,800	0	10.7	8,800	10,467	8.0	98.5	0.0	3,864
15期 (2022年7月25日)	8,631	0	△ 1.9	8,631	10,829	3.5	98.4	0.0	3,237
16期 (2022年8月25日)	8,743	0	1.3	8,743	11,262	4.0	98.8	0.0	3,015
17期 (2022年9月26日)	7,935	0	△ 9.2	7,935	10,334	△ 8.2	98.4	0.0	2,518
18期 (2022年10月25日)	8,260	0	4.1	8,260	10,879	5.3	98.5	0.0	2,450
19期 (2022年11月25日)	7,781	0	△ 5.8	7,781	10,827	△ 0.5	100.0	0.0	2,159
20期 (2022年12月26日)	7,044	0	△ 9.5	7,044	9,839	△ 9.1	98.3	0.0	1,788
21期 (2023年1月25日)	7,624	0	8.2	7,624	10,410	5.8	98.8	0.0	1,840
22期 (2023年2月27日)	7,650	0	0.3	7,650	10,799	3.7	98.5	0.0	1,771
23期 (2023年3月27日)	7,344	0	△ 4.0	7,344	10,743	△ 0.5	98.9	0.0	1,634
24期 (2023年4月25日)	7,587	0	3.3	7,587	11,521	7.2	98.8	0.0	1,563

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配額)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注6) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

(注7) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率	ベンチマーク	騰落率	GAM ディスラプティブ・ グロース・ケイマン・ ファンド	債券 組入比率
第19期	(期首)	円	%		%	%	%
	2022年10月25日	8,260	—	10,879	—	98.5	0.0
	10月末	8,359	1.2	10,973	0.9	98.7	0.0
第20期	(期末)						
	2022年11月25日	7,781	△5.8	10,827	△0.5	100.0	0.0
	(期首)						
第20期	2022年11月25日	7,781	—	10,827	—	100.0	0.0
	11月末	7,571	△2.7	10,566	△2.4	98.5	0.0
	(期末)						
第21期	2022年12月26日	7,044	△9.5	9,839	△9.1	98.3	0.0
	(期首)						
	2022年12月26日	7,044	—	9,839	—	98.3	0.0
第21期	12月末	7,110	0.9	9,891	0.5	98.7	0.0
	(期末)						
	2023年1月25日	7,624	8.2	10,410	5.8	98.8	0.0
第22期	(期首)						
	2023年1月25日	7,624	—	10,410	—	98.8	0.0
	1月末	7,601	△0.3	10,467	0.5	98.5	0.0
第23期	(期末)						
	2023年2月27日	7,650	0.3	10,799	3.7	98.5	0.0
	(期首)						
第23期	2023年2月27日	7,650	—	10,799	—	98.5	0.0
	2月末	7,660	0.1	10,859	0.6	98.6	0.0
	(期末)						
第24期	2023年3月27日	7,344	△4.0	10,743	△0.5	98.9	0.0
	(期首)						
	2023年3月27日	7,344	—	10,743	—	98.9	0.0
第24期	3月末	7,643	4.1	11,141	3.7	98.6	0.0
	(期末)						
	2023年4月25日	7,587	3.3	11,521	7.2	98.8	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2022年10月26日～2023年4月25日

(1) 投資信託証券

	第19期～第24期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド	千口 -	千円 -	千口 89	千円 684,510

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第19期～第24期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当作成期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2022年10月26日～2023年4月25日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2023年4月25日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	第18期末	第24期末		
	口数	口数	評価額	比率
GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド	千口 291	千口 201	千円 1,544,355	% 98.8
合計	291	201	1,544,355	98.8

(注1) 比率は、当作成期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	第18期末	第24期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9

(注) 当作成期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は708,248千口です。

投資信託財産の構成

2023年4月25日現在

項目	第24期末	
	評価額	比率
GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド	千円 1,544,355	% 98.2
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	27,864	1.8
投資信託財産総額	1,572,229	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

グローバル・ディスラプター成長株ファンド（予想分配金提示型）

資産、負債、元本および基準価額の状況

	(2022年11月25日)	(2022年12月26日)	(2023年1月25日)	(2023年2月27日)	(2023年3月27日)	(2023年4月25日) 現在
項目	第19期末	第20期末	第21期末	第22期末	第23期末	第24期末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,208,731,799円</b>	<b>1,846,076,273円</b>	<b>1,851,702,097円</b>	<b>1,788,888,077円</b>	<b>1,653,033,030円</b>	<b>1,572,229,520円</b>
コール・ローン等	29,820,728	38,592,026	20,146,876	27,513,394	36,659,215	27,864,414
GAMディスラプティブ・ グロース・ケイマン・ ファンド(評価額)	2,159,471,072	1,758,624,248	1,818,705,223	1,744,174,685	1,616,363,817	1,544,355,108
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	9,999	9,999	9,998	9,998	9,998	9,998
未収入金	19,430,000	48,850,000	12,840,000	17,190,000	-	-
<b>(B) 負債</b>	<b>49,577,093</b>	<b>57,680,179</b>	<b>11,041,427</b>	<b>17,883,840</b>	<b>18,234,500</b>	<b>8,647,593</b>
未払解約金	47,260,082	55,610,708	9,282,391	15,885,354	16,673,024	7,124,020
未払信託報酬	2,302,820	2,056,160	1,747,083	1,985,120	1,550,631	1,512,684
その他未払費用	14,191	13,311	11,953	13,366	10,845	10,889
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>2,159,154,706</b>	<b>1,788,396,094</b>	<b>1,840,660,670</b>	<b>1,771,004,237</b>	<b>1,634,798,530</b>	<b>1,563,581,927</b>
元本	2,774,764,152	2,539,020,996	2,414,294,091	2,315,111,493	2,225,972,534	2,061,001,899
次期繰越損益金 △	615,609,446	750,624,902	573,633,421	544,107,256	591,174,004	497,419,972
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,774,764,152口</b>	<b>2,539,020,996口</b>	<b>2,414,294,091口</b>	<b>2,315,111,493口</b>	<b>2,225,972,534口</b>	<b>2,061,001,899口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>7,781円</b>	<b>7,044円</b>	<b>7,624円</b>	<b>7,650円</b>	<b>7,344円</b>	<b>7,587円</b>

(注1) 当作成期首元本額 2,966,414,029円  
 当作成期中追加設定元本額 12,310,353円  
 当作成期中一部解約元本額 917,722,483円

(注2) 元本の欠損  
 当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は497,419,972円です。



損益の状況

項目	（第19期 2022年10月26日～2022年11月25日） （第20期 2022年11月26日～2022年12月26日） （第21期 2022年12月27日～2023年1月25日）			（第22期 2023年1月26日～2023年2月27日） （第23期 2023年2月28日～2023年3月27日） （第24期 2023年3月28日～2023年4月25日）		
	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期
(A) 配当等収益	△ 2,903円	△ 2,678円	△ 688円	△ 682円	△ 536円	△ 307円
受取利息	227	138	145	85	56	73
支払利息	△ 3,130	△ 2,816	△ 833	△ 767	△ 592	△ 380
(B) 有価証券売買損益	△130,626,346	△185,240,943	141,875,152	7,956,434	△ 66,452,760	51,464,706
売買益	4,376,658	7,701,075	145,067,405	10,749,820	1,491,485	54,086,998
売買損	△135,003,004	△192,942,018	△ 3,192,253	△ 2,793,386	△ 67,944,245	△ 2,622,292
(C) 信託報酬等	△ 2,317,034	△ 2,069,472	△ 1,759,037	△ 1,998,489	△ 1,561,476	△ 1,523,578
(D) 当期損益金(A+B+C)	△132,946,283	△187,313,093	140,115,427	5,957,263	△ 68,014,772	49,940,821
(E) 前期繰越損益金	△494,691,598	△574,274,817	△724,143,869	△559,999,841	△532,679,048	△556,160,633
(分配準備積立金)	( 248,592,417)	( 227,456,579)	( 216,273,507)	( 207,375,396)	( 199,379,136)	( 184,597,915)
(繰越欠損金)	(△743,284,015)	(△801,731,396)	(△940,417,376)	(△767,375,237)	(△732,058,184)	(△740,758,548)
(F) 追加信託差損益金*	12,028,435	10,963,008	10,395,021	9,935,322	9,519,816	8,799,840
(配当等相当額)	( 46,651,201)	( 42,703,158)	( 40,614,790)	( 38,959,355)	( 37,470,727)	( 34,699,288)
(売買損益相当額)	(△ 34,622,766)	(△ 31,740,150)	(△ 30,219,769)	(△ 29,024,033)	(△ 27,950,911)	(△ 25,899,448)
(G) 合計(D+E+F)	△615,609,446	△750,624,902	△573,633,421	△544,107,256	△591,174,004	△497,419,972
次期繰越損益金(G)	△615,609,446	△750,624,902	△573,633,421	△544,107,256	△591,174,004	△497,419,972
追加信託差損益金	12,028,435	10,963,008	10,395,021	9,935,322	9,519,816	8,799,840
(配当等相当額)	( 46,651,201)	( 42,703,158)	( 40,614,790)	( 38,959,355)	( 37,470,727)	( 34,699,288)
(売買損益相当額)	(△ 34,622,766)	(△ 31,740,150)	(△ 30,219,769)	(△ 29,024,033)	(△ 27,950,911)	(△ 25,899,448)
分配準備積立金	248,592,417	227,456,579	216,273,507	207,375,396	199,379,136	184,597,915
繰越欠損金	△876,230,298	△989,044,489	△800,301,949	△761,417,974	△800,072,956	△690,817,727

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	46,651,201円	42,703,158円	40,614,790円	38,959,355円	37,470,727円	34,699,288円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	248,592,417円	227,456,579円	216,273,507円	207,375,396円	199,379,136円	184,597,915円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	295,243,618円	270,159,737円	256,888,297円	246,334,751円	236,849,863円	219,297,203円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	1,064.03円	1,064.03円	1,064.03円	1,064.03円	1,064.03円	1,064.03円
(g) 分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円	0円	0円	0円	0円	0円

# お知らせ

## ■自社の実質保有比率

2023年3月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に7.1%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

# 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式												
信託期間	2021年4月26日～2031年4月25日												
運用方針	外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、既存の市場を破壊しうる革新的な技術・ビジネスモデルを有し、株価上昇が期待できる成長企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。												
主要運用対象	グローバル・ディスラプター成長株ファンド（予想分配金提示型）												
	GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド												
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド												
運用方法	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への直接投資は行いません。</li> <li>・株式への直接投資は行いません。</li> </ul> <p>毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。</p> <p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。</p> <p>収益分配方針に基づき、原則として決算日の前営業日の基準価額（1万口当たり。支払い済みの分配金累計額は加算しません。）に応じて、以下の金額の分配をめざします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>決算日の前営業日の基準価額</th> <th>分配金額（1万口当たり、税引前）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,000円未満</td> <td>基準価額の水準等を勘案して決定</td> </tr> <tr> <td>11,000円以上12,000円未満</td> <td>200円</td> </tr> <tr> <td>12,000円以上13,000円未満</td> <td>300円</td> </tr> <tr> <td>13,000円以上14,000円未満</td> <td>400円</td> </tr> <tr> <td>14,000円以上</td> <td>500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>・分配対象額が少額の場合、あるいは決算日の前営業日から決算日までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。また、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。</p> <p>・基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。</p> <p>・基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。</p> <p>・分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。</p> <p>※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。</p> <p>※将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。</p>	決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）	11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定	11,000円以上12,000円未満	200円	12,000円以上13,000円未満	300円	13,000円以上14,000円未満	400円	14,000円以上	500円
決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）												
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定												
11,000円以上12,000円未満	200円												
12,000円以上13,000円未満	300円												
13,000円以上14,000円未満	400円												
14,000円以上	500円												
分配方針													

# GAMディストラティブ・グロース・ケイマン・ファンド

以下は、「GAMディストラティブ・グロース・ケイマン・ファンド」（ケイマン籍外国投資信託証券）の2022年12月31日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

## (1) 損益計算書（2022年1月1日～2022年12月31日）

	(米ドル)
<b>収益</b>	
配当収入	690,852
損益を通じて公正価値で測定される金融資産および金融負債の正味公正価値損益	(57,940,904)
外貨換算の正味公正価値損益	(136,680)
<b>収益（損失）合計</b>	<u>(57,386,732)</u>
<b>費用</b>	
投資運用報酬	571,904
管理報酬	70,587
監査報酬	29,781
信託報酬	2,425
役員報酬	4,300
その他費用	68,146
<b>費用合計</b>	<u>747,143</u>
<b>源泉徴収前利益</b>	<u>(58,133,875)</u>
配当源泉税	(119,597)
<b>当期純利益および包括利益</b>	<u>(58,253,472)</u>

(2) 投資有価証券明細表 (2022年12月31日)  
GAM Disruptive Growth (Cayman)Fund

Holdings	Description	Fair Value US\$	Net assets
			attributable to the shareholders of the Fund %
<b>Equity securities, at fair value</b>			
18,175	Microsoft Corp	4,358,729	10.04
23,251	PTC Inc	2,791,050	6.43
10,008	Intuitive Surgical Inc	2,655,623	6.12
101,860	Plus500 Ltd	2,210,395	5.09
21,680	Expedia Group Inc	1,899,168	4.38
6,410	Netflix Inc	1,890,181	4.35
9,860	Keysight Technologies Inc	1,686,750	3.89
36,470	Marvell Technology Inc	1,350,849	3.11
20,570	Seagate Technology Holdings PLC	1,082,188	2.49
25,270	Sensata Technologies Holding PLC	1,020,403	2.35
19,993	Trimble Inc	1,010,846	2.34
11,846	Akamai Technologies Inc	998,618	2.30
2,490	ServiceNow Inc	966,792	2.23
18,831	Omniceil Inc	949,459	2.19
2,798	EPAM Systems Inc	917,016	2.11
21,200	Zalando SE	749,137	1.73
71,600	Li Auto Inc	704,538	1.62
1,254	Thermo Fisher Scientific Inc	690,565	1.59
4,530	NVIDIA Corp	662,014	1.53
82,412	Full Truck Alliance Co Ltd	659,296	1.52
7,260	Airbnb Inc	620,730	1.43
17,292	Pegasystems Inc	592,078	1.36
198,266	Oxford Nanopore Technologies PLC	587,888	1.35
8,830	Block Inc	554,877	1.28
15,959	Trip.com Group Ltd	548,990	1.26
268,700	Kahoot! ASA	530,117	1.22
6,900	Datadog Inc	507,150	1.17
3,880	Atlassian Corp Ltd	499,278	1.15
5,422	Alibaba Group Holding Ltd	477,624	1.10
16,730	ROBLOX Corp	476,136	1.10
62,000	Ganfeng Lithium Group Co Ltd	463,116	1.07
10,186	Cloudflare Inc	460,509	1.06
18,500	BYD Co Ltd	456,518	1.05
4,302	CrowdStrike Holdings Inc	452,957	1.04
22,800	Rivian Automotive Inc	420,204	0.97
6,700	Contemporary Amperex Technology Co Ltd	379,175	0.87
60,234	Cvent Holding Corp	325,264	0.75
33,872	Chindata Group Holdings Ltd	269,960	0.62
495,300	Linklogis Inc	258,916	0.60
4,390	JD.com Inc	246,411	0.57
<b>Total equity securities, at fair value</b>		<b>38,381,515</b>	<b>88.43</b>
<b>Total Investments, at fair value</b>		<b>38,381,515</b>	<b>88.43</b>
<b>Other net current assets</b>		<b>5,024,106</b>	<b>11.57</b>
<b>Net assets attributable to the shareholders of the Fund</b>		<b>43,405,621</b>	<b>100.00</b>

# ニッセイマネーマーケット マザーファンド

## 運用報告書

### 第 23 期

(計算期間：2022年10月18日～2023年4月17日)

#### 運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

#### 主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

#### 運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。  
・外貨建資産への投資は行いません。



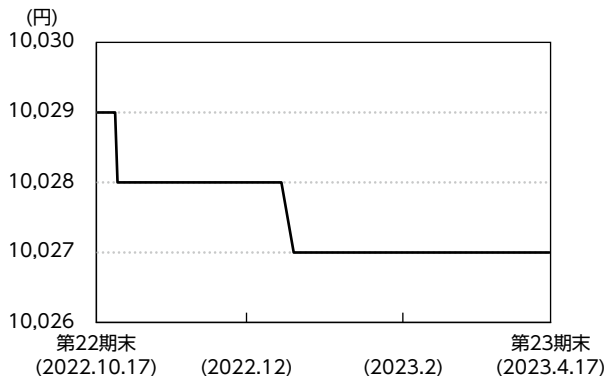
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

## 運用経過

2022年10月18日～2023年4月17日

### 基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

#### ■ 基準価額の主な変動要因

##### <上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

##### <下落要因>

- ・前期末以降、無担保コールレート翌日物のマイナス金利等が影響したこと

### ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

### ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

## 今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。



## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
19期(2021年4月15日)	10,029	△0.0	77.5	50
20期(2021年10月15日)	10,030	0.0	69.5	50
21期(2022年4月15日)	10,029	△0.0	69.5	50
22期(2022年10月17日)	10,029	0.0	79.4	50
23期(2023年4月17日)	10,027	△0.0	89.9	706

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2022年10月17日	10,029	—	79.4
10月末	10,028	△0.0	59.6
11月末	10,028	△0.0	59.5
12月末	10,028	△0.0	70.6
2023年1月末	10,027	△0.0	71.7
2月末	10,027	△0.0	70.1
3月末	10,027	△0.0	68.4
(期末)2023年4月17日	10,027	△0.0	89.9

(注) 騰落率は期首比です。

## 1万口当たりの費用明細

2022年10月18日～2023年4月17日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	0円	0.000%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,027円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## 売買および取引の状況

2022年10月18日～2023年4月17日

## 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	14,014	—
	地方債証券	311,009	—
	特殊債券	301,574	(30,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 主要な売買銘柄

2022年10月18日～2023年4月17日

## 公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
千円		千円	
第132回 共同発行市場公募地方債	155,957	—	—
平成30年度第2回 北海道公募公債（5年）	155,051		
第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,619		
第26回 政保日本政策金融公庫債券	100,528		
第49回 政保地方公共団体金融機構債券	100,427		
第1121回 国庫短期証券	14,014		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

## 組入有価証券明細表

2023年4月17日現在

## 国内（邦貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	%
国債証券	14,000 ( 14,000)	14,009 ( 14,009)	2.0 ( 2.0)	—	—	—	—	2.0 ( 2.0)
地方債証券	320,000 (320,000)	320,968 (320,968)	45.4 (45.4)	—	—	—	—	45.4 (45.4)
特殊債券 (除く金融債券)	300,000 (300,000)	300,773 (300,773)	42.6 (42.6)	—	—	—	—	42.6 (42.6)
合計	634,000 (634,000)	635,751 (635,751)	89.9 (89.9)	—	—	—	—	89.9 (89.9)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ( )内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

## (国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
国債証券	第1121回 国庫短期証券	—	2023/11/20	14,000	14,009
	小計	—	—	—	14,009
地方債証券	平成30年度第2回 北海道公募公債(5年)	0.0300	2023/ 5 /31	155,000	155,014
	第374回 大阪府公募公債	0.9380	2023/ 7 /28	10,000	10,026
	第132回 共同発行市場公募地方債	0.6600	2024/ 3 /25	155,000	155,928
	小計	—	—	—	320,968
特殊債券 (除く金融債券)	第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.6990	2023/10/31	100,000	100,390
	第49回 政保地方公共団体金融機構債券	0.8820	2023/ 6 /16	100,000	100,146
	第26回 政保日本政策金融公庫債券	0.9110	2023/ 7 /19	100,000	100,236
	小計	—	—	—	300,773
	合計	—	—	—	635,751

## 投資信託財産の構成

2023年4月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	635,751	89.9
コール・ローン等、その他	71,405	10.1
投資信託財産総額	707,157	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## ニッセイマネーマーケットマザーファンド

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年4月17日現在)

項目		当期末
<b>(A)資産</b>	<b>産</b>	<b>707,157,019円</b>
コ ー ル ・ ロ ー ン 等		70,979,907
公 社 債 (評 価 額)		635,751,552
未 収 利 息		302,240
前 払 費 用		123,320
<b>(B)負債</b>	<b>債</b>	<b>323,519</b>
未 払 解 約 金		323,355
そ の 他 未 払 費 用		164
<b>(C)純 資 産 総 額 (A - B)</b>		<b>706,833,500</b>
元 本		704,956,153
次 期 繰 越 損 益 金		1,877,347
<b>(D)受 益 権 総 口 数</b>		<b>704,956,153口</b>
<b>1万口当たり基準価額 (C / D)</b>		<b>10,027円</b>

(注1) 期首元本額 50,381,791円  
 期中追加設定元本額 700,353,019円  
 期中一部解約元本額 45,778,657円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)	49,952,679円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	9,994円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・通貨ヘッジあり)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・高替ヘッジあり)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・高替ヘッジなし)	9,977円
J P X 日経400アクティブ・オープン米ドル投資型	9,976円
J P X 日経400アクティブ・プレミアム・オープン(毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型)	9,974円
ニッセイ/MF S 外国株低ボラティリティ運用ファンド	9,967円
ニッセイ A   関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイ A   関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型)	9,968円
D C ニッセイターゲットデットファンド 2 0 2 5	654,584,564円
ニッセイ/コムジエスト新興成長株ファンド(資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジエスト新興成長株ファンド(年2回決算型)	9,969円
ニッセイ A   関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ A   関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型)	9,972円
限定追加型・繰上償還条項付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド(為替ヘッジあり)	9,973円
限定追加型・繰上償還条項付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド(為替ヘッジなし)	9,973円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2023-02(為替ヘッジあり・限定追加型)	9,974円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

### 損益の状況

当期 (2022年10月18日~2023年4月17日)

項目	当期
<b>(A)配 当 等 収 益</b>	<b>860,754円</b>
受 取 利 息	882,935
支 払 利 息	△ 22,181
<b>(B)有 価 証 券 売 買 損 益</b>	<b>△ 957,608</b>
売 買 損 益	△ 957,608
<b>(C)信 託 報 酬 等</b>	<b>△ 1,213</b>
<b>(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)</b>	<b>△ 98,067</b>
<b>(E)前 期 繰 越 損 益 金</b>	<b>143,762</b>
<b>(F)追 加 信 託 差 損 益 金</b>	<b>1,955,725</b>
<b>(G)解 約 差 損 益 金</b>	<b>△ 124,073</b>
<b>(H)合 計 (D + E + F + G)</b>	<b>1,877,347</b>
<b>次 期 繰 越 損 益 金 (H)</b>	<b>1,877,347</b>

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

## 指数に関して

### ■ファンドのベンチマーク等について

- ・MSCIワールド・グロース・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIワールド・グロース・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスです。同インデックスに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。